

学 校 便 り

<http://www.katsushika-sh.metro.tokyo.jp>



実習での体験を生かして成長しよう

校長 山崎 久美

今年度も間もなく3カ月が過ぎようしております。新型コロナウイルスの感染防止対策は、緊急事態宣言からまん延防止等重点措置へと移行されましたが、新規感染者数は、増加傾向となっております。東京都教育委員会の感染対策の通知に沿って、引き続き感染防止対策を徹底しながら、安全・安心な教育活動を続けてまいります。感染状況によっては、行事等の急遽の中止・変更もあり得ることを御承知おきください。また、コロナ感染防止の切り札と言われているワクチン接種ですが、都で都立特別支援学校の教職員を最優先に6月25日から「職域接種」が行われることになりました。各区での接種も進んでおりますので、制限の少ない生活が送れる日が、近付いてきています。希望をもって過ごしていきましょう。

さて、6月は、第I期実習期間として3年生の現場実習、2年生のトライアウト実習や校内実習が行われ、1年生は校内実習の見学をしました。事業所等の都合で7月上旬まで実習が続いておりますが、これから現場実習を向かえる皆さんは、気を引き締めて頑張ってください。

6月9日に行われた実習激励会では、私から生徒の皆さんに向けて、次の3つのことについて話をしました。

一つ目は、「目標をしっかりもち、その目標が達成できたか日々、振り返る」こと。

二つ目は、「葛飾特別支援学校の生徒らしい挨拶をする」こと。

三つ目は、「困った時は、誰かに話をしたり、相談したりする」ことです。

これらは、これまで様々な学習の中で、繰り返し学んだことですが、再度、心がけてほしいことです。現場実習・校内実習といっても、これらの基礎・基本というべきことを確実に実行することが、実習の成果につながるということを生徒の皆さんに伝えさせていただきました。皆さんの第I期現場実習・トライアウト実習・校内実習が実り多きものであったことを願っています。

7月に入ると2、3年生は、進路面談があります。実習を振り返り、自己理解を深め、自己の課題を認識して改善するように、毎日過ごしていくことが、次の成長につながっていきます。進路学習は、卒業後の行き先を決めるだけではありません。「卒業後どんな生活をしていこうか」「どんな大人になりたいのか」などを考える機会でもあります。実習での体験を生かして、今後の社会人としての生活で大切なことを確認し、毎日の生活や学習の中で取り入れて、成長していきましょう。保護者の皆様もお子様の気持ちに寄り添い、支えてくださるようお願いいたします。

これから本格的な夏を迎えます。マスクを着用するため暑さが応える日々が続くと思いますが、保護者の皆様も健康に十分注意してお過ごしください。

スポーツフェスティバル参観ありがとうございました。

副校長 今野 昌人

6月7日(月)から6月9日(水)に1学期の授業参観を設定し、スポーツフェスティバルを学年ごとに実施しました。お忙しい中、御来校いただいたことまた、新型コロナウイルス感染症予防に御協力いただき感謝申し上げます。これまで生徒たちは、スポーツフェスティバルに向けて、委員会活動や競技の練習などに取り組んできました。開会式では各学年の個性が見られ体育祭に引けを取らないくらいに雰囲気盛り上げていました。徒競走では保護者様が見守る中、真剣な表情で全力疾走する姿が印象的でした。たくさんの人に注目されて応援されながら走る経験は、このような機会ではなければありません。走り終わった後には、本気で悔しがる生徒やガッツポーズ見せる生徒など、子どもたちの表情を見ていると一人一人が貴重な経験をしたのだと感じています。

保護者の皆様からいただいたアンケートからは、「徒競走、劇的なシーンをいくつも見られてよかった」「みんな楽しそうにやっていて、見学している私も楽しかったです！」など生徒たちの活動の様子についての御意見や各学年での取り組みについて「学年ごとの参観で本当に良かった」「2時間で集中してみるのができた」「来年はちゃんとできるといいです」などの御意見をいただきました。いただきました御意見については、全校で共有し今後の教育活動に生かしたいと思っております。今後とも、本校の教育活動について御理解、御協力をお願いいたします。